

笑顔があふれた

第11回女性レクリエーション大会

大山町女性団体連絡協議会主催の女性レクリエーション大会が、9月17日に名和農業者トレーニングセンターで、行われました。170名以上の参加があり、「パン食い競走」「じゃんけんポンでおたまちゃん」などの競技を楽しみました。「素敵でショー」では、地区ごとに揃いの衣装で息の合った踊りを披露しました。

参加者は日頃の忙しさを忘れて大いに笑い、体を動かし、親睦を深め、楽しい一日を過ごしました。

最後は「いさい踊り」「鬼太郎大山音頭」「大山ばやし」を皆で踊って、レクリエーション大会を盛り上げました。



▲息のあった傘踊り

名和公民館サークル発表会のお知らせ

名和公民館で活動されるサークルの皆さんの活動発表会、「名和公民館サークル発表会」を行います。

ステージ発表や作品の展示、バザーなど日頃のサークル活動の成果をぜひご覧ください。

皆さんのお越しをお待ちしています。

- ◆日時 11月20日(日) 9時30分～
- ◆場所 保健福祉センターなわ
- ◆問い合わせ先 名和公民館
☎ 0859-54-2688
FAX 0859-54-5215

まちのたから(20) 文化財室通信 「横手道」の巻

今回は大山道「横手道」を紹介します。

大山寺に続く道は、「大山さん」の祭日に参る人々や、牛馬市に向かう博労や牛馬が歩いた道でした。特に山陽側からは、縁者を偲び、その霊を祀るために歩いて来る人が多く、また廻国行者たちも納経所として大山寺をめざしました。大山寺を起点に放射状に延びるこれらの道は、いつのころからか「大山道」と呼ばれるようになりました。

大山道のひとつで、岡山県真庭郡川上村延助のぶすけから内海峠を越えて下蚊屋、御机、鍵掛峠を経て文珠堂に至り、大山寺に続くルートが「横手道」です。この古道は、標高800メートル前後の大山西麓を南北の方向に、ほぼ水平(横方向)に進んで大山寺境内へと続くことから、その名がつけられたと言われています。

この道は途中の小柳分れや溝口分れで、備前・備中方面から続く日野往来や出雲街道

とも合流するなど、山陽方面からの主要な道でした。大山寺にとつては京都や比叡山へつながる公用の道でもありませんでした。

延助から大山寺までの総延長約20キロメートルのうち、小柳分れから大山寺までの約3・5キロメートルの区間は、道脇に一丁地蔵が立ち並び、往時の状況をよく留めて

います。

自然と歴史の両方を楽しむことができることで親しまれているこの古道は、平成8年に文化庁の「歴史の道百選」に選定され、今年認定された日本遺産ではストーリーの構成文化財のひとつにもなっています。

(人権・社会教育課文化財室)



▲横手道(榎水分れ)